

エチオピア連邦民主共和国平和 支援訓練研究センター (FDRE- PSTI) 能力構築プロジェクト



日本補正予算：2020年3月～2021年3月

予算：日本(29万6,000米ドル)

主なパートナー：エチオピア連邦民主共和国国防省、エチオピア連邦民主共和国平和支援訓練センター (FDRE-PSTI)、外務省、アディスアベバ大学平和・安全保障研究所 (IPSS)、アフリカ連合 (AU)、国際安全保障研究所 (ISS)、紛争の建設的解決のためのアフリカ・センター (ACCORD)、国際平和支援訓練センター (IPSTC)、アフリカ平和安全保障訓練センター (ACPST)

目的

このプロジェクトは、国内的・国際的平和維持実務者の技術的スキルと知識を強化することを目的としています。

このプロジェクトにより、国際平和支援訓練センターはエチオピア、ひいてはアフリカ地域全体がすべてのPKOで必要とされるスキルや資質を育成する能力を強化するとともに、国連やAU、アフリカ待機軍 (ASF) に対するエチオピア平和維持要員の参加と貢献を質的、量的に改善することが期待されています。

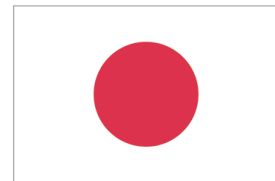
プロジェクトの成果

成果1：国際平和支援訓練センターがその任務を全うできる環境を整備すること

成果2：各種の国内的・国際的訓練の提供を通じ、人的能力を強化すること

SDGs への貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標16に貢献します。



From
the People of Japan

開発課題

エチオピア連邦民主共和国平和支援訓練センター (FDRE-PSTI) は2010年、エチオピア国防省により設置されました。国際平和支援訓練センター設立の背景には、エチオピアの地域的安全と安定に主導的な貢献が挙げられます。国際平和支援訓練センターでは、平和支援活動 (PSO) におけるエチオピアの長年にわたる豊かな経験と成功例を記録し、他の東アフリカ諸国と共有することで地域の安定に寄与しています。また、平和維持ミッションに派遣できる兵員、警察官および文民専門家の地域的待機能力も強化しています。8,300人以上を派遣するエチオピアは、国連に対する最大のPKO要員提供国の一つとなっています。

アフリカでは、平和と安全を維持し、持続可能な開発を実現することが不可欠であるため、域内諸国がその平和維持における役割を増すことが必要となっています。大陸全体でテロや暴力的過激主義が台頭する中で、アフリカの平和維持への取り組みと活動は、進化を遂げる新たな脅威に適応する必要があります。政府間開発機構 (IGAD) の最近の報告によると、アル・シャバーブのようなテロ組織は「アフリカの角」地域で、すでに平和と安定に対する脅威となっています。